

- 問1 オーストラリア大陸の主要な都市について説明した資料において、大陸の南東部内陸に位置し、シドニーとメルボルンの対立を避けるための中間地点として新たに建設された、オーストラリア連邦の首都となっている都市はどこですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. シドニー                      2. キャンベラ                      3. メルボルン                      4. パース
- 
- 問2 ブラジルのエネルギー事情について、発電電力量の構成とその背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. 広大な砂漠地帯を利用した太陽光発電が急速に普及しており、現在は発電量の8割以上を太陽光が占めている。
2. 豊富な水資源を利用した水力発電が中心となっており、主要国の中でも火力発電への依存度が極めて低い。
3. バイオ燃料の原料となるさとうきびの栽培が盛んであるため、国内の電力のほとんどはバイオマス火力発電で賄われている。
4. アマゾン川の環境保護を優先するために水力発電の使用を制限し、現在は原子力発電を電力供給の柱としている。
- 
- 問3 ブラジルでは、1990年代から2000年代にかけて衛星写真で確認できる森林面積が大幅に減少する一方で、統計上の耕地面積は655万haから866万haへと大きく拡大しました。このような土地利用の変化が起きた背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 中国などの諸外国で大豆の輸入需要が高まったため、輸出用の大豆を生産する農地を確保しようと大規模な森林伐採が行われた。
2. バイオ燃料の原料となるサトウキビの国際価格が下落したため、農家が経営を安定させるために耕地を縮小し、森林保護へと舵を切った。
3. 先進国企業の工場を誘致するための広大な工業団地や、都市住民のための住宅地を整備することを目的として森林が開発された。
4. ブラジル国内の人口急増に伴い、自給用のトウモロコシや小麦の生産を拡大させるため、熱帯雨林が伝統的な焼畑農業の場へと転換された。
- 
- 問4 南米のアンデス山脈周辺など、高地で涼しい気候の地域で見られる伝統的な民族衣装についての説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. 袖がなく、首元から足元までを覆う貫頭衣であるアオザイ
2. 布の中央に穴をあけて頭を通す形式のボンチョ
3. 前を合わせて帯で結ぶ形式の着物
4. 薄い布を体を巻きつけて着用するサリー
- 
- 問5 世界の諸大陸の気候帯面積割合を示した資料において、ある大陸は熱帯が16.9%、温帯が25.9%であるのに対し、乾燥帯が57.2%と過半数を占めているという特徴があります。この大陸の名称と、その自然環境を活かした産業の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. アフリカ大陸 — 全域が熱帯であるため、赤道付近を中心にカカオなどの商品作物の栽培が行われている。
2. オーストラリア大陸 — 乾燥に強い羊の放牧が、掘り抜き井戸などを利用して大規模に行われている。
3. 南アメリカ大陸 — 温帯の面積割合が最も高いため、パンパと呼ばれる草原で大豆の栽培が行われている。
4. ユーラシア大陸 — 乾燥帯の面積が非常に小さいため、全域で季節風を利用した稲作が行われている。
- 
- 問6 1960年頃のオーストラリアの統計では、かつての宗主国であるイギリスへの輸出割合が約20%を超えて最大でしたが、近年ではアジア諸国との結びつきが強まっています。近年の統計において、オーストラリアにとって最大の輸出相手国となっている国として適切なものを選びなさい。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
1. 中国                      2. 日本                      3. イギリス                      4. アメリカ合衆国
- 
- 問7 オーストラリアの産業の分布について述べた次の記述のうち、大陸の北部から東部、および内陸部にかけて広く行われている農業と、大陸北西部の沿岸付近に主要な産出地が集中している地下資源の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 米の栽培とボーキサイト                      2. 羊の飼育と石炭                      3. 牛の放牧と鉄鉱石                      4. 小麦の栽培と銅
- 
- 問8 オーストラリアの輸出相手国の変化について、かつてはイギリスなどの欧米諸国が中心でしたが、近年ではアジア諸国が大きな割合を占めるようになっていきます。この変化の主な要因として、輸出品目の変化と関連付けて説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2023年 島根県公立入試 類似)
1. アジア諸国の工業化にともない、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源の需要が高まったため。
2. アジア諸国において羊毛を用いた伝統的な衣服の需要が急激に高まったため。
3. 欧米諸国での人口増加にともない、羊毛や小麦などの農産物の輸出を制限したため。
4. 欧米諸国との貿易摩擦を避けるために、輸出先をあえて近隣の島嶼国に限定したため
- 
- 問9 ニュージーランドのウェリントンは南半球に位置し、西岸海洋性気候に属しています。この都市の雨温図に見られる気温と降水量の特徴として、正しい記述はどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 1月頃に気温が低くなり、冬にあたる時期に降水量が多くなる
2. 1月頃に気温が高くなり、年間を通して安定した降水が見られる
3. 年間を通して気温の変化が小さく、降水量は一年中非常に少ない
4. 7月頃に気温が高くなり、夏にあたる時期に乾燥する
- 
- 問10 バイオ燃料の利用を拡大することによる利点と、発生しうる課題の組み合わせとして、最も適切な説明はどれかを選びなさい。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
1. 安価に大量生産できる利点がある一方、原料となる植物が特定の乾燥地域でしか育たないため、生産できる国が限定される。
2. 地下資源を使い切らないという利点がある一方、燃焼時に大量の硫黄酸化物を排出するため深刻な大気汚染を引き起こす。
3. 二酸化炭素の排出を実質的に抑えられる利点がある一方、穀物が燃料用に回されることで食料価格が高騰する恐れがある。
4. 天候に関わらず安定して発電できる利点がある一方、原料の収穫に多大な電力を消費するため、エネルギー効率が極めて低い。
- 
- 問11 1995年から2020年にかけて、人口が3億人台から4億人台へと増加している地域があります。この地域は、一人あたりの二酸化炭素排出量が0.8トンにとどまっており、北アメリカ州やヨーロッパ州といった他の州と比較して環境への負荷が比較的抑制されているという統計的特徴を持っています。この地域に該当する名称を選択してください。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
1. オセアニア州                      2. 南アメリカ州                      3. 北アメリカ州                      4. ヨーロッパ州
- 
- 問12 2020年の経済統計において、国内総生産（GDP）の総額が約1兆4000億ドル、1人あたりの国内総生産が約6800ドルを記録したブラジルの経済状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)
1. 国内総生産の総額は大きいものの、1人あたりの国内総生産はアフリカ諸国の平均を下回っている。
2. 南アメリカ最大の経済規模を持ち、1人あたりの国内総生産はインドやコートジボワールを上回る水準にある。
3. 南アメリカでは中程度の経済規模であり、隣国のアルゼンチンやチリよりも国内総生産の総額は低い。
4. 1人あたりの国内総生産が非常に高く、欧米の先進国と同等の経済水準に達している。